

空とみどりが人をつないでいくまち 中標津

中標津町コミュニティ・スクール ～地域とともにある学校づくり～

令和3年12月 中標津町教育委員会

第1回CS代表者会議を開催しました。

中標津町では5つの学校運営協議会を設置しています。それぞれの運営協議会は、「学校運営への参画」「学校支援」「学校関係者評価」の3つの機能をもち、より良い学校づくりを進めています。それぞれの活動を交流することで、さらに前進できるように12月21日に「第1回CS代表者会議」を開催しました。

「学校運営協議会」の3つの機能

学校運営への参画

学校の重点目標や課題などを共有し、学校運営について話し合う場をもちます。また、話し合いの中で出た意見を、学校運営を進める上で有効なアドバイスと受け止め、積極的に生かします。

学校支援

教育委員会の学校支援担当と連携し、学校サポーターの整理や拡充を図るとともに、地域学校協働本部と連携して学校支援活動の企画・調整を行い行います。

学校関係者評価

よりよい学校づくりを進めるため学校が実施している自己評価に対して学校関係者評価を行い、その結果を学校運営に反映します。

「学校運営への参画」は、校長先生の学校運営方針、重点目標等について、すべての学校で承認されています。また、「学校関係者評価」は、今、それぞれの学校で行っている「学校評価アンケート」の結果を基にして、すべての学校で取り組まれています。課題は「学校支援」をどのように進めていくかです。

■各学校の主な取り組み

- 図書ボランティア（図書室環境整備、読み聞かせ）を定期的に行っている。
- 国語の「俳句」の学習で中標津文芸の方、社会の「産業」の学習でJA青年部、商工会等、地域の団体や人材を活用している。
- 防災学校でCSとして関わった。生徒の反応がよかった。
- 法教育セミナーで司法書士、行政書士、職業講話では釧路新聞社、大地みらい信用金庫に協力をいただいた。
- 地域と学校が無理のない形でやっていくことを確認しながら進めている。
- 地域にある組織を活用している。

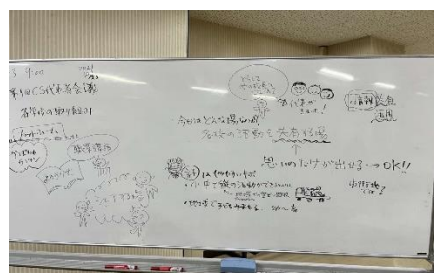
■今後の取り組みについての主な意見

役割の明確化

- CS、PTA、学校地域協働本部の役割を整理する必要がある。役割をしっかりとつくと壊れてしまう。
- 学校が必要としているかどうか、子どもにとって必要かどうか、吟味する必要がある。

実態把握と情報共有

- 各校の取り組みを広げていきたい。
- 活動だけではなく、どんな手順（誰が、どのように）で人材を確保したかということも教えてもらえば、すぐに取り入れることができる。



■改めて、「コミュニティ・スクール」で期待されることは・・・

- ①コミュニティ・スクールでは、保護者・地域住民にも教育の当事者となることで、責任感をもち、積極的に子どもの教育に携わることができます。
- ②コミュニティ・スクールでは、保護者・地域住民等が学校運営や教育活動へ参画することで、自己有用感や生きがいにつながり、子どもたちの学びや体験が充実します。
- ③コミュニティ・スクールでは、保護者・地域住民等と学校が“顔が見える関係”となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現します。

学校の主役は「子ども」です。地域にとっても「子ども」は大切な存在です。コミュニティ・スクールは「子どもたちのため」「地域で子どもを育てる」を目的とした取り組みです。

地域と学校の目標に大きなズレがあったり、その目標が共有されていなかったりした場合、お互いに「頼まれたからやる」や「この前、手伝ってもらったからやる」といった受け身の姿勢になってしまうことがあります。これでは、地域にとっても学校にとっても、直接的に自分たちのメリットとならないため、“負担感”や“やらされ感”があり「不満」がたまる可能性があります。

そこで「目標の共有」が重要となってきます。目標が共有されると、お互いに前向きな姿勢で取り組むことができ、子どもたちへの教育効果も大いに期待できます。つまり、地域と学校が一体となり、役割分担をしながら、それぞれが主体的に取り組むことができるようになり、お互いに「達成感」を味わうことができるようになります。



■コミュニティ・スクールが目指す「学校支援」とは・・・

現在、各学校では地域の資源、人材等を活用した教育活動を展開しています。

学校は「年間指導計画」を作成し、どの学習でどのような資源・人材を活用するか、前年度の段階で次年度の計画を立てます。その計画に沿って進めていくことになります。つまり、「この活動で地域資源・人材を活用する」というのは4月には決定しているのです。

しかし、人材が見つからない場合があります。そこで、地域のたくさんの皆さんに「学校サポーター」に登録をいただければ、スムーズに人材を探すことができます。また、地域コーディネーターの方に相談して探していただく場合もあります。

「下校途中に石を投げて遊んでいる子がいて危ない」「自転車の乗り方が危ない」など、地域の方から学校に連絡が来ることも少なくありません。連絡をしていただけることは大変ありがたいことです。しかし、学校ではすぐに指導はしますが、実際に登下校時に子どもの様子を確認できず、対応しきれないこともたくさんあるのも事実です。このようなことも、学校だけでなく、地域の皆さんとともに対応策を考えていけるような仕組みづくりをつくっていきたい、と考えています。そのためには、子どもの実態を知ることから始めてみませんか？ 学校サポーターとして積極的に子どもたちと関わってみませんか？

【問い合わせ先】 中標津町教育委員会学校教育課・指導室

住所：中標津町丸山2丁目22番地

電話：0153-73-3111 / FAX：0153-72-7757